

---

# 小田原市の行政改革

---

( 小田原市企画部行政管理課 )

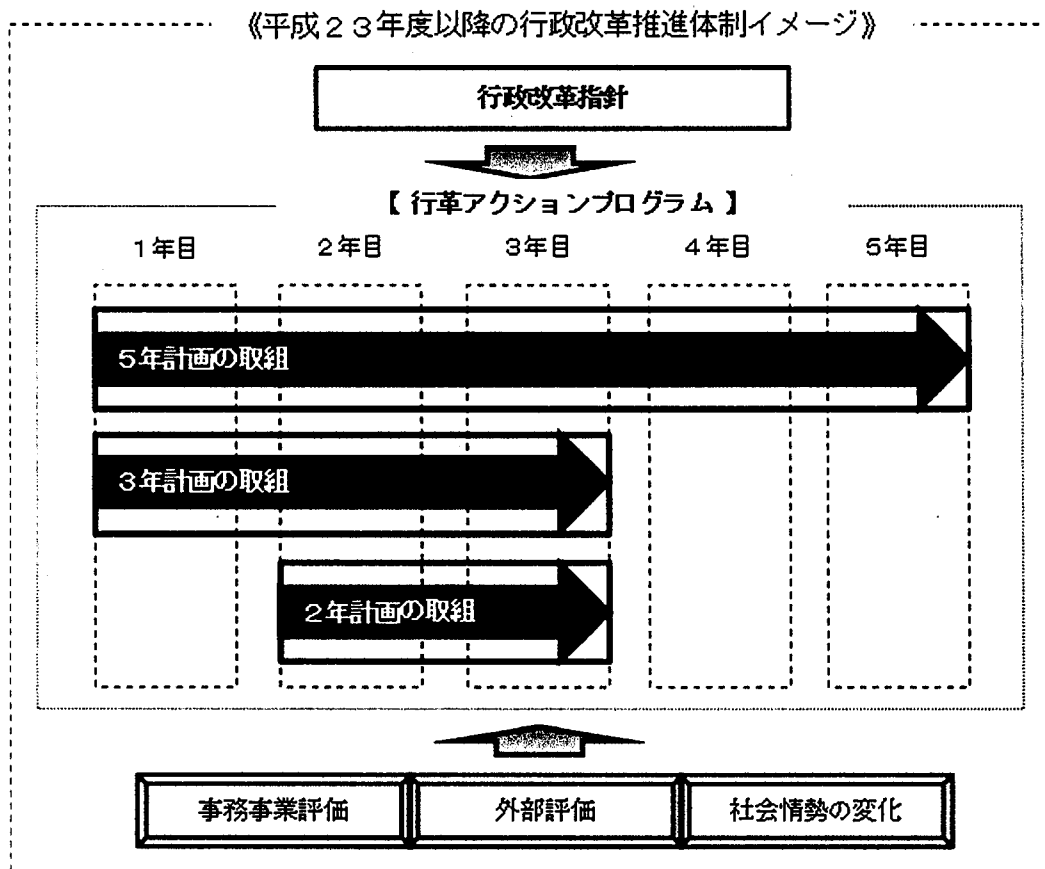
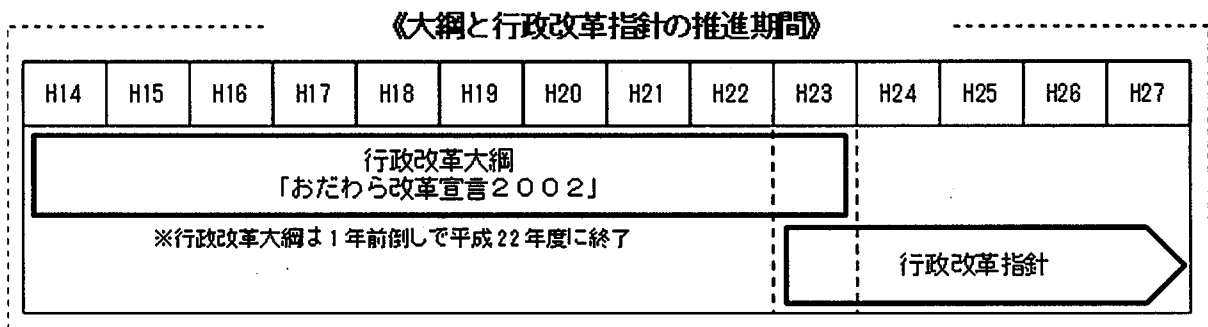
## < 目 次 >

I	小田原市の行政改革の指針 .....	1
II	小田原市の行政改革の取り組み（平成 23 年度から平成 26 年度まで）	
1	行政改革指針における計画期間と目標等 .....	2
2	効果額 .....	2
3	行革アクションプログラム 2015 取り組み一覧と実施状況 .....	3
4	代表的な取り組み .....	9
	(1) 事務事業評価の実施 .....	9
	(2) 指定管理者制度導入 .....	10
III	広報おだわらで提供している行政改革の取り組み	
1	行政改革の取り組み（平成 24 年 10 月 1 日号） .....	11
2	行政改革の取り組み（平成 25 年 11 月 1 日号） .....	12
3	行政改革の取り組み（平成 26 年 10 月 1 日号） .....	13
4	行政改革の取り組み（平成 27 年 10 月 1 日号） .....	14

# 1 小田原市の行政改革の指針

前計画である「行政改革大綱 おだわら改革宣言 2002」は、平成 14 年 2 月に策定し、平成 23 年度を目標年次とした 10 年間の計画期間として取り組んできましたが、10 年間の長期計画であることから、急激な社会情勢の変化などに更に機動的に対応するため、本大綱を 1 年前倒しで終了し、平成 23 年 3 月に新たに「小田原市行政改革指針」を策定しました。

現在の小田原市の行政改革は、平成 23 年度から平成 27 年度までを計画期間とする「小田原市行政改革指針」のもと、事務事業の見直しを行い、その結果を次年度以降に反映させるとともに、改善・改革については、事務事業評価や、社会情勢の変化を踏まえ、柔軟かつ的確に対応できるよう各事務事業に応じて適切な目標と取り組み年次を設定し、課題と成果目標を踏まえた改善・改革の取り組み計画として「行革アクションプログラム」を策定し取り組んでいます。



## II 小田原市の行政改革の取り組み（平成 23 年度から平成 26 年度まで）

### 1. 行政改革指針における計画期間と目標等

(1) 計画期間 平成23年度から平成27年度まで

(2) 目 標 「経営指向の行財政運営の推進」

「いのちを大切に作る小田原」の実現を始めとした、「おだわらTRYプラン（第5次小田原市総合計画）」の着実な遂行により市民と共に「新しい小田原」を創り上げていくため、行政資源を最適に配分し、多様な主体との連携により効率的で質の高い行政サービスを促進します。

(3) 実施に当たっての3つの視点

視点① 効率的・効果的な行財政運営の推進

視点② 健全な行財政運営の推進

視点③ 市民との協働による行財政運営の推進

### 2. 効果額

平成 23 年度から平成 26 年度までの主な効果額 合計 7 億 1,309 万 6 千円

(単位：千円)

効果額項目	H23	H24	H25	H26	合計
歳出削減	72,211	225,319 (57,198)	281,766 (281,891)	58,554 (562,953)	637,850 (902,042)
歳入増加	5,300	3,351 (5,176)	3,039 (8,527)	63,556 (11,467)	75,246 (25,170)
合計	77,511	228,670 (62,374)	284,805 (290,418)	122,110 (574,420)	713,096 (927,212)

※括弧書で記載した金額は、前年度までの取り組みにより継続して得られた金銭的な効果です。

※括弧書で記載した金額を含めた平成 23 年度から平成 26 年度までの 4 年間における主な効果の累積額は、16 億 4,030 万 8 千円です。

#### 《各年度における小田原市行政改革指針に基づく行政改革の取り組み結果》

■平成 23 年度 行政改革による主な効果額 77,511 千円

歳出の削減額 72,211 千円

視点① 効率的・効果的な行財政運営の推進 39,096 千円

視点② 健全な行財政運営の推進 17,654 千円

視点③ 市民との協働による行財政運営の推進 15,461 千円

歳入の増加額 5,300 千円

視点② 健全な行財政運営の推進 5,300 千円

■平成 24 年度 行政改革による主な効果額 228,670 千円

歳出の削減額 225,319 千円

視点① 効率的・効果的な行財政運営の推進	222,724 千円
視点② 健全な行財政運営の推進	1,776 千円
視点③ 市民との協働による行財政運営の推進	819 千円

歳入の増加額 3,351 千円

視点② 健全な行財政運営の推進	3,351 千円
-----------------	----------

■平成 25 年度 行政改革による主な効果額 284,805 千円

歳出の削減額 281,766 千円

視点① 効率的・効果的な行財政運営の推進	242,835 千円
視点② 健全な行財政運営の推進	2,764 千円
視点③ 市民との協働による行財政運営の推進	36,167 千円

歳入の増加額 3,039 千円

視点② 健全な行財政運営の推進	3,039 千円
-----------------	----------

■平成 26 年度 行政改革による主な効果額 122,110 千円

歳出の削減額 58,554 千円

視点① 効率的・効果的な行財政運営の推進	13,683 千円
視点② 健全な行財政運営の推進	44,047 千円
視点③ 市民との協働による行財政運営の推進	824 千円

歳入の増加額 63,556 千円

視点② 健全な行財政運営の推進:	63,556 千円
------------------	-----------

3. 行革アクションプログラム 2015 取り組み一覧と実施状況

視点1 効率的・効果的な行財政運営の推進

(1) 事業の休廃止、見直し、類似・重複事業の整理・統合 (50件)

①事業見直し

No	取り組み名	担当部署名	状況	効果額(千円)
1	「小田原評定衆」の新たな活用へ向けた見直し	広報広聴課	継続	
2	職員健康管理事業の見直し	職員課	H23完了	
3	交通安全運動推進事業の見直し	地域安全課	H25完了	166
4	男女共同参画推進体制の整備へ向けた見直し	人権・男女共同参画課	継続	
5	文化財保護啓発事業の見直し	文化財課	H23完了	
6	野猿等対策事業の見直し	環境保護課	継続	
7	農業嘱託員制度の見直し	農政課	H23完了	2,757

8	消防の広域化の実施	広域調整課	H23追加・H24完了	
9	回収品保管用容器の変更	環境事業センター	H23追加・完了	1,302
10	間伐材を利用した楯による表彰の実施	環境政策課 環境保護課 農政課	H23追加・完了	10
11	障害年金申請支援プログラムの見直し	生活支援課	H23追加・完了	
12	委託事業者の選定方法の見直し	子育て政策課	H23追加・完了	11,048
13	災害時要援護者管理システム構築	福祉政策課	H24追加・完了	
14	生活保護受給者等就労支援事業活用プログラムの推進	生活支援課	H24追加・完了	
15	高等技能訓練促進制度の利用者増加に向けた取組	子育て政策課	H25新規・完了	
16	企業等誘致推進制度の見直し	産業政策課	H25新規・継続	
17	広報委員研修視察の見直し	広報広聴課	H25追加・完了	1,397
18	市県民税試算システムの導入	市民税課	H25追加・完了	
19	土地評価支援システムの導入	資産税課	H25追加・継続	
20	防犯灯 ESCO 事業	地域安全課	H25追加・H26完了	
21	高齢者保養費助成事業の廃止	高齢介護課	H25追加・H26完了	
22	健康情報システムの更新	健康づくり課	H26新規・継続	371
23	青少年育成推進員制度の見直し	青少年課	H25追加・完了	576
24	小田原城門番事業の見直し	観光課	H25追加・完了	671
25	支給決定通知書等の出力方法の見直し	高齢介護課	H27新規	
26	委託相談支援事業所の一元化	障がい福祉課	H26追加・完了	7,680
27	健診・がん検診に係る受診券の一本化	健康づくり課	H26追加・完了	1,039
28	観光回遊バス運行事業の効果的運営	産業政策課	H26追加・完了	

## ②補助事業の見直し

No	取り組み名	担当部署名	状況	効果額(千円)
1	補助金の見直し	行政管理課	継続	19,710
2	小田原地方防犯協会補助事業の見直し	地域安全課	H25完了	313
3	障がい者施設等通所者交通費助成事業の見直し	障がい福祉課	H26完了	20,336
4	小田原市勤労者共済会補助事業等の見直し	産業政策課	継続	
5	商店街活性化推進事業補助事業の見直し	産業政策課	継続	
6	漁業共済掛金補助事業の見直し	水産海浜課	継続	2,683
7	重度身体障がい者移動支援事業費補助金の廃止	障がい福祉課	H26追加・完了	800

## ③他会計における事業の見直し

No	取り組み名	担当部署名	状況	効果額(千円)
1	競輪事業の経営改善	事業課	継続	23,352
2	市立病院の経営改善	経営管理課	H26完了	

3	下水道事業の企業会計化	下水道総務課	H25新規・継続	
---	-------------	--------	----------	--

#### ④外郭団体の見直し

No	取り組み名	担当部署名	状況	効果額(千円)
1	小田原市土地開発公社の経営改善	管財契約課	継続	
2	小田原市体育協会管理費補助事業の見直し	スポーツ課	H24完了	
3	小田原市体育協会事業費補助事業の見直し	スポーツ課	H24完了	
4	小田原市社会福祉協議会運営費補助事業の見直し	福祉政策課	継続	
5	小田原市社会福祉協議会事業補助事業の見直し	福祉政策課	継続	
6	小田原市シルバー人材センター運営の見直し	高齢介護課	継続	
7	小田原市事業協会の今後のあり方の検討	産業政策課	継続	

#### ⑤業務効率化の取り組み

No	取り組み名	担当部署名	状況	効果額(千円)
1	ITガバナンスの推進	情報システム課	H23完了	
2	無線LANシステムの導入	情報システム課	継続	1,121
3	プリンター複合機の導入	情報システム課	H24完了	
4	タブレット端末を使用した会議の開催	高齢介護課	H25追加・完了	1,300
5	新課税システムによる確定申告及び市県民税申告の受付	市民税課	H26追加・完了	

#### (2)施設の管理運営方法等の見直し（ファシリティマネジメントの推進）（17件）

No	取り組み名	担当部署名	状況	効果額(千円)
1	ファシリティマネジメントの推進	行政管理課	継続	
2	地域センターへの指定管理者制度の導入	地域政策課	継続	
3	おだわら女性プラザ管理運営事業の見直し	人権・男女共同参画課	継続	1,077
4	窓口施設のあり方の検討	戸籍住民課	継続	
5	おだわら国際交流ラウンジ管理運営事業の見直し	文化政策課	継続	886
6	清閑亭の改修及び活用	文化政策課 文化財課	継続	
7	スポーツ施設への指定管理者制度の導入	スポーツ課	H24完了	23,814
8	御幸の浜プール管理運営事業の見直し	スポーツ課	H24完了	
9	小田原市社会福祉センター管理運営事業の見直し	福祉政策課	H25完了	
10	生きがいふれあい施設提供事業のあり方の検討	高齢介護課	H25完了	1,500
11	障害者自立支援施設「ありんこホーム」のあり方の検討	障がい福祉課	H25完了	
12	障害者自立支援施設「梅香園」のあり方の検討	障がい福祉課	H25完了	
13	青果市場管理運営方法のあり方の検討	農政課	継続	
14	市庁舎における省エネルギー化推進の取組	管財契約課	H24新規・継続	61

15	市民活動サポートセンターの移転	地域政策課	H23追加・継続	
16	橘商工会移転に伴う前羽福祉館の有効活用	高齢介護課	H25追加・完了	
17	「塔ノ峰青少年の家」の施設廃止	青少年課	H26追加・完了	

### (3)定員管理の適正化、人材育成と人事給与制度の見直し（5件）

No	取り組み名	担当部署名	状況	効果額(千円)
1	職員数適正化の推進	職員課	継続	
2	住居手当及び地域手当の見直し	職員課	継続	1,199,217
3	人事評価制度の見直し	職員課	継続	
4	時間外勤務時間の縮減に向けた取組	職員課	継続	
5	人事・給与システム再構築に伴う業務標準化の取組	職員課	H25新規・H26完了	

### (4)職員の意識改革（2件）

No	取り組み名	担当部署名	状況	効果額(千円)
1	業務改善・職員提案制度の推進	行政管理課	継続	
2	コンプライアンス推進体制の整備	行政管理課	継続	

## 視点2 健全な行財政運営の推進

### (1)歳入確保（16件）

#### ①受益と負担の見直し

No	取り組み名	担当部署名	状況	効果額(千円)
1	開放施設有料化事業の実施	スポーツ課 生涯学習課 教育総務課	継続	
2	道路・水路占用料の適正化	土木管理課	H24完了	
3	水道料金の見直し	営業課	継続	
4	し尿の処理手数料の見直し	環境保護課	H26追加・継続	37,874

#### ②歳入確保に向けた新たな取り組み

No	取り組み名	担当部署名	状況	効果額(千円)
1	ホームページへのバナー広告の掲載	広報広聴課	H23完了	6,409
2	広告収入等による新たな歳入確保策の導入	行政管理課	継続	28,241
3	認定道路の見直し	土木管理課	H25完了	
4	自動販売機設置場所の貸付方法の見直し	管財契約課	H23追加・H24完了	15,833
5	市有地の有効活用による新たな歳入確保の取組	文化政策課	H23追加・完了	8,064
6	松永記念館交流美術展の開催	生涯学習課	H23追加・継続	61
7	小田原城址公園内施設の有効活用による新たな歳入確保の取組	観光課	H25追加・完了	3,820
8	小田原駅西口・東口自転車駐車場設備の取得及び管理運営方法の見直し	地域安全課	H26追加・継続	



③市税等の収納率向上に向けた新たな取り組み

No	取り組み名	担当部署名	状況	効果額(千円)
1	市税等収納率向上の取組	市税総務課	H23追加・継続	
2	子ども手当からの学校給食費等の徴収	子育て政策課	H23追加・完了	
3	国民健康保険料確保緊急対策の取組	保険課	H25追加・完了	
4	税務署調査の導入	資産税課	H26追加・完了	

(2)歳出抑制(21件)

No	取り組み名	担当部署名	状況	効果額(千円)
1	(仮称)小田原市公共工事コスト構造改善プログラムの推進	検査室	H26完了	
2	健全化指標に基づく財政規律の確保	財政課	継続	
3	大茶会事業の見直し	文化政策課	H26完了	3,200
4	雑誌スポンサー制度の導入	図書館	H24完了	67
5	衛生環境保持事業の見直し	環境保護課	継続	8,742
6	狭あい道路整備事業の見直し	土木管理課	H25完了	
7	窓口封筒の購入方法の見直し	戸籍住民課	H23追加・完了	717
8	酒匂川スポーツ広場の土日・祝日の受付等施設管理業務の見直し	スポーツ課	H23追加・完了	3,464
9	生ごみ堆肥化によるごみ減量化の取組	環境政策課	H23追加・完了	
10	小田原市指定ごみ袋仕様の見直し	環境政策課	H23追加・完了	
11	施設の節電対策等の見直し	管財契約課 事業課 環境事業センター	H23追加・完了	14,829
12	廃材の処理方法の見直し	道水路整備課	H23追加・完了	136
13	庁内ネットワークを利用したFAX送受信の確立	戸籍住民課	H24追加・完了	1,650
14	古紙分別の推進	環境政策課	H24追加・継続	1,776
15	省エネ診断及び省エネ改修検討の支援	エネルギー政策推進課	H24追加・完了	200
16	圧着用紙の導入による各種経費の削減	環境保護課 環境政策課	H25追加・完了	830
17	都市計画情報検索システムの見直し	都市計画課	H25追加・完了	3,572
18	公共施設予約システムの南足柄市との共同利用	情報システム課	H26追加・完了	1,556
19	基幹業務システムの効率的な更新	情報システム課	H26追加・完了	
20	がん検診事業の委託契約に係る単価の見直し	健康づくり課	H26追加・完了	39,465
21	都市施設図の作成	都市計画課	H26追加・完了	

視点3 市民との協働による行財政運営の推進

(1)市民や民間の力による事業展開の推進 (31件)

①市民や民間の力による事業展開の推進

No	取り組み名	担当部署名	状況	効果額(千円)
1	提案型協働事業の実施	地域政策課	H26完了	
2	保護司会・更生保護女性会の自立促進	人権・男女共同参画課	H25完了	
3	ときめき国際学校開催事業の見直し	文化政策課	継続	
4	小田原海外市民交流会補助事業の見直し	文化政策課	継続	1,240
5	地球市民フェスタ開催事業の見直し	文化政策課	継続	120
6	松永記念館交流事業(地域交流)の見直し	生涯学習課	継続	396
7	「キャンパスおだわら」の開設	生涯学習課	H23完了	
8	市民総合体育大会開催事業の見直し	スポーツ課	H24完了	
9	リサイクルリユースフェア開催事業の見直し	環境政策課	継続	
10	子育てマップ「ぴんたっこ」の市民との協働による発行	子育て政策課	H24完了	
11	地域医療連携の充実	医事課	継続	
12	市美術展・市民文化祭開催事業の見直し	文化政策課	H23追加・継続	268
13	小田原城ミュージックストリートの見直し	文化政策課	H23追加・継続	
14	外国籍住民支援事業の見直し	人権・男女共同参画課	H25新規・継続	
15	市民協働の取組を拡充するための環境再生プロジェクトにおけるオーナー制度の導入	環境政策課	H24追加・完了	
16	足柄駅自転車駐車場の整備	地域安全課	H25追加・完了	2,606
17	めだかサポーターの会の設立	環境保護課	H25追加・完了	
18	生きがいふれあいフェスティバル参加団体との協力体制の構築	高齢介護課	H25追加・完了	
19	地域コミュニティ活動中間報告会の実施	地域政策課	H26追加・完了	
20	地元企業と連携した若年者雇用支援事業の実施	産業政策課	H26追加・完了	
21	バスの乗り方教室の開催	都市計画課	H26追加・継続	
22	橘地域におけるバス交通の再編等	都市計画課	H26追加・継続	
23	民間企業と連携した「ハミダセ×まちづくり学校」の開催	企画政策課	H27新規	

②業務の委託

No	取り組み名	担当部署名	状況	効果額(千円)
1	自転車等保管場所の管理運営方法の見直し	地域安全課	継続	
2	かもめ図書館におけるカウンター業務の見直し	図書館	H23完了	
3	ごみ収集運搬業務の委託	環境事業センター	H24完了	
4	現場作業業務の委託	道水路整備課	H24完了	
5	高田浄水場運転管理業務の委託	水質管理課	H25完了	
6	学校用務業務の委託	教育総務課	継続	61,168

7	学校給食調理業務の委託	保健給食課	継続	70,284
8	選挙の効率的な執行及び選挙経費の見直し	選挙管理委員会事務局	H24完了	419

## (2) 市民と行政の情報共有と市民によるモニタリング（10件）

### ① 市民と行政の情報共有

No	取り組み名	担当部署名	状況	効果額(千円)
1	メディア戦略に基づく効果的な情報発信	広報広聴課	H23完了	
2	「市長への手紙」の効果的な運用	広報広聴課	H23完了	
3	動く市政教室事業の見直し	広報広聴課	H23完了	
4	行政情報センターの有効活用	総務課	H25完了	
5	財政状況の公表の仕方（財政白書）	財政課	H24完了	
6	ごみ分別状況調査結果の公開	環境政策課	H24追加・完了	

### ② 市民によるモニタリング

No	取り組み名	担当部署名	状況	効果額(千円)
1	市民参加による外部評価制度の実施	行政管理課	継続	
2	パブリックコメントの制度化	総務課	H24完了	
3	審議会や委員会の活性化	総務課	H26完了	
4	芸術文化創造センター基本設計業務デザインプロポーザルへの市民参加	文化政策課	H24追加・完了	

※効果額で記載した金額は、平成23年度から平成26年度までの4年間における主な効果の累積額です。（前年度までの取り組みにより継続して得られた金銭的な効果額を含みます。）

## 4. 代表的な取り組み

### (1) 事務事業評価の実施

事務事業の結果や成果を自ら検証し、その結果を次期予算に反映させることを目的として、平成14年度に初めて実施し、平成18年度から途切れることなく事務事業の評価を実施しています。事務事業の統廃合や効率化などの見直しのためのツールとするため、事務事業評価表という様式を定め、事務事業評価を行っています。

#### 平成23年度（平成22年度実施事業分）

平成22年度に実施した1,020事業のうち、各課の主要事業かつ平成23年度も継続する事業（306事業）を対象に行い、各事務事業の目的や目標の妥当性、活動内容や手段、目標値の達成などの評価を行いました。

#### 平成24年度（平成23年度実施事業分）

総合計画の実施事業に位置付けている事業を、平成24～25年度の2か年をかけて評価を実施することとし、平成23年度に実施した事業のうち371事業の評価を行いました。

平成 25 年度（平成 24 年度実施事業分）

総合計画の第 2 次実施計画のローリングの年であることから、第 1 次実施計画事業を対象（705 事業）に、行政管理課、企画政策課、財政課が一体となって評価を行いました。

平成 26 年度（平成 25 年度実施事業分）

第 1 次実施計画事業に位置付けられた全事業（704 事業）について評価を実施しました。また、企画政策課（計画）、財政課（予算）、行政管理課（評価）の 3 課と事業所管課により、個別事業の課題に対する解決策を共有する場を設け、事業の精査を進めました。

平成 27 年度（平成 26 年度実施事業分）

第 2 次実施計画事業に位置付けられた全事業（655 事業）について評価を実施しました。また、平成 26 年度に実施した、企画政策課（計画）、財政課（予算）、行政管理課（評価）の 3 課と事業所管課で個別事業の課題に対する解決策を共有する場を設け議論を行った事務事業について、フォローアップを実施しました。さらに、健全な行財政運営を確保するための取り組みとして、全庁的に事務事業を見直す取り組みを実施いたしました。

## (2)指定管理者制度導入

- ・公の施設（平成 27 年 12 月現在、267）の管理運営については、地方公共団体の直営を原則、外部委託する場合でも地方公共団体が出資する団体や公共的団体、公共団体に限定されていましたが、平成 15 年度の地方自治法の改正で、民間事業者、NPO、市民活動団体等も指定管理者として公の施設の管理運営主体となれる指定管理者制度が制度化されました。
- ・これにより、民間事業者等が有する能力、ノウハウの活用や競争原理の効果による施設サービスの向上や経費の削減が可能となりましたことから、施設サービス向上とコスト削減の視点から、現状の管理運営体制を検証し、指定管理者制度の活用が最適かどうかを判断しています。
- ・現在、指定管理者制度を導入している施設は、次の 15 施設となっています。

1 おだわら市民交流センター UMECO、2 鴨宮ケアセンター、3 小田原市歯科二次診療所、4 小田原市いこいの森、5 小田原市梅の里センター、6 曾我みのり館（梅の里センター分館）、7 上府中公園（小田原球場等を含む）、8 小田原こどもの森公園わんぱくらんど、9 辻村植物公園、10 小田原フラワーガーデン、11 小田原市総合文化体育館、12 小田原テニスガーデン、13 城山陸上競技場、14 小峰庭球場、15 小田原駅西口第 1 自転車駐車場

以上

1 行政改革の取り組み (平成24年10月1日号)

...

...

# 行政改革の 取り組み

問 行政管理課 ☎ 33-1305

## 平成23年度の 取り組み

「小田原市行政改革指針」で設定した3つの視点に基づき、83件の取り組み計画を「行革アクションプログラム2011」としてまとめ、これに基づき行政改革に取り組みました。

また、これらの取り組みに加え、各部署において自主的な業務改善に取り組みました。

平成23年度の行政改革による主な効果額  
(7,751万1千円)

歳入増加額  
530万円

ホームページへの  
バナー広告の掲載  
自動販売機設置場所  
の貸付方法の見直し  
など

歳出削減額  
7,221万1千円

◎ 各種補助事業の見直し  
◎ 住居手当の見直し  
◎ 施設の節電対策等の見直し  
など

市では、少子高齢化、人口減少、税収減少などの変化に機動的に対応した行政改革に取り組むため、平成23年3月に「小田原市行政改革指針」を策定しました。

この指針に基づき、各部署が事務事業の見直しを行い、その結果、改善・改革を行うものについては、具体的な取り組み計画である「行革アクションプログラム」として取りまとめ、行政改革に取り組んでいます。

## 「小田原市行政改革指針」の3つの視点

### 視点2

#### 健全な行財政運営の推進

歳入面では税収が伸び悩み、歳出面では社会保障関係費(扶助費)の増加が進んでいます。2つの推進項目に基づく歳入歳出構造の見直しを行い、財源確保に努めます。

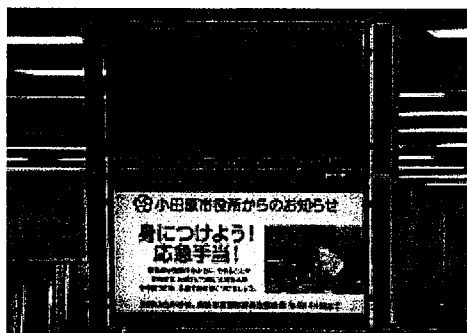
#### ▶ 平成23年度に取り組んだ項目

##### 推進項目1 歳入確保

- 主な取り組み
- 広告収入等による新たな歳入確保策の導入
  - 自動販売機設置場所の貸付方法の見直し

##### 推進項目2 歳出抑制

- 主な取り組み
- 健全化指標に基づく財政規律の確保
  - 衛生環境保持事業の見直し



広告収入等による新たな歳入確保策の導入

### 視点1

#### 効率的・効果的な行財政運営の推進

厳しい財政状況の中で、重要政策などの推進や市民ニーズに着実に対応するため、4つの推進項目に基づき、行政資源の効率的で効果的な活用に取り組めます。

#### ▶ 平成23年度に取り組んだ項目

##### 推進項目1 事業の休廃止、見直し、類似・重複事業の整理・統合

- 主な取り組み
- 消防の広域化の実施
  - 委託事業者の選定方法の見直し

##### 推進項目2 施設の管理運営方法等の見直し

(ファシリティマネジメントの推進)

- 主な取り組み
- 清閑亭の改修及び活用

##### 推進項目3 定員管理の適正化、人材育成と人事給与制度の見直し

- 主な取り組み
- 住居手当の見直し

##### 推進項目4 職員の意識改革

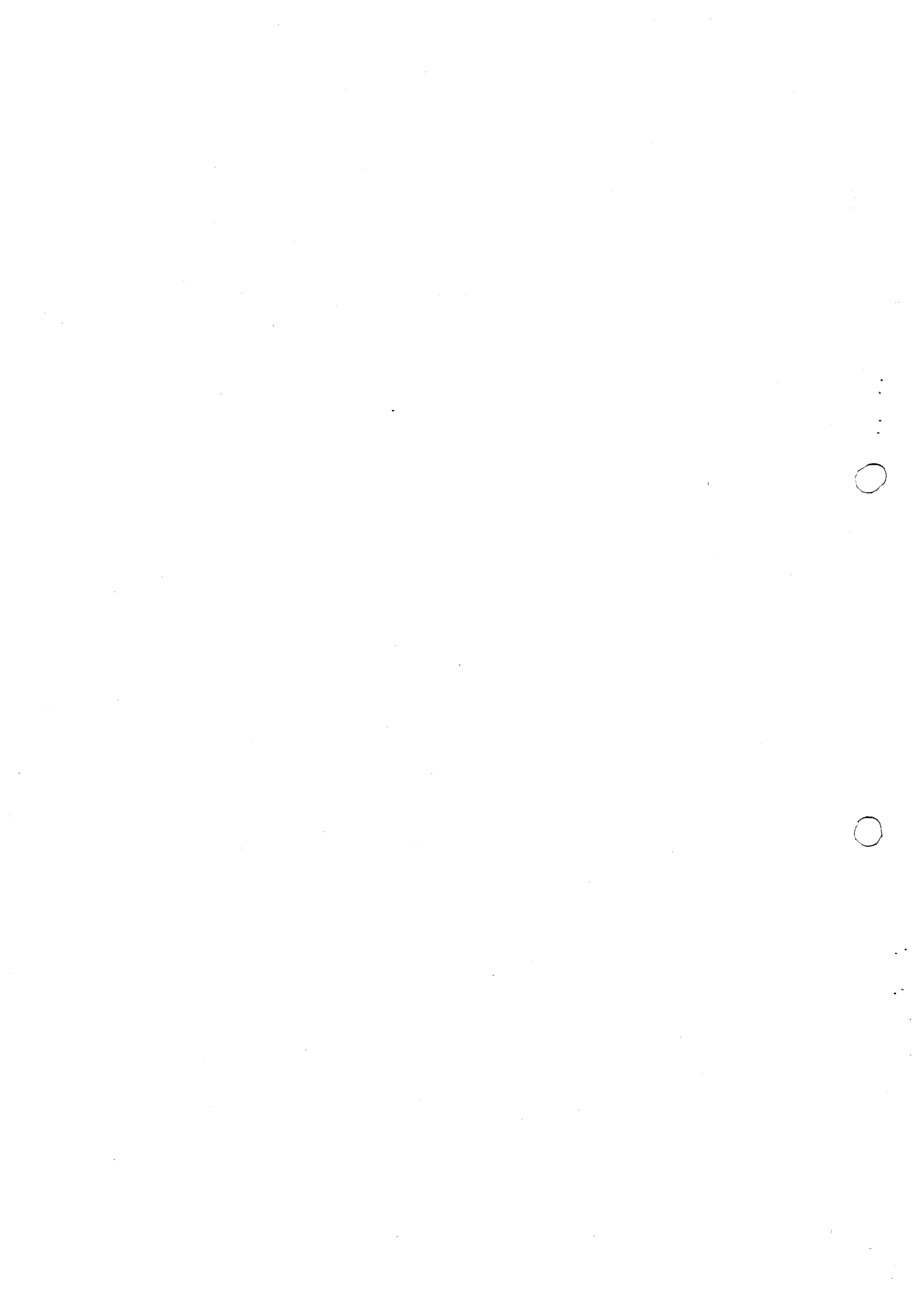
- 主な取り組み
- 業務改善・職員提案制度の推進
  - コンプライアンス推進体制の整備



清閑亭の改修及び活用



消防の広域化の実施





## 「白秋が詠んだ小田原」

小田原市長 加藤憲一

今年、北原白秋の没後70年ということで、文学館や白秋童謡館などを拠点としたさまざまな行事が予定されています。白秋は、小田原で暮らしした8年間に、「赤い鳥小鳥」「あわて床屋」「揺籠ゆりかごのうた」「砂山」「からたちの花」「ペチカ」「待ちぼうけ」「この道」「雨ふり」など、私たちにたいへん身近な作品を含め、彼の生涯を通じた詩作、約1200点のうちの半分を詠んだとのこと。小田原は、白秋の詩作に極めて大きな位置を占めているのです。

白秋が暮らしていた頃、すなわち大正期の小田原の街並みや、人々の暮らしのようすは、既に無くなってしまっているものが多いのですが、白秋が眺めたであろう風景、歩いたであろう小径は、今でも眺め、辿ることが出来ます。小田原駅西口から谷津の丘陵部の尾根筋を辿り、伝でん壱寺いっしを經由して板橋方面へ下る「白秋童謡の散歩道」沿いには、往時をしのべさせる眺めやたたずまいが随所に。私の家はこの散歩道のごく近くにあるため、散歩道の一帯は、幼い頃の虫取りのフィールドであり、また中学や高校の頃は友達と遊んだりランニングで通ったりと、私自身の成育環境でもあったので、会ったことのない白秋をととても身近に感じています。

白秋が詩作した童謡には、自然の情景、その美しさ、その中で営まれている人々の暮らしの機微きびなどが、やさしさ、ぬくもり、懐かしさや感慨を伴って描かれています。そこには、郷里である柳川など、過去において暮らしした土地の記憶も入っているのでしょうか、やはり小田原という土地が有していた、四季折々、時々刻々に見せる自然やまちの景色の多様性、繊細な美しさ、人々の優しさや温かさが、はっきりと映じていたのだと思います。小田原の、さまざまな意味における豊かさが、白秋の詩作を生み出したのです。「からたちの花」など、何度唄うたっても琴線きんせんに触れる気がするの、そのような豊かさへの感謝（ありがたみ）が、共感をもって感じられるからかもしれません。

往時とは姿をだいぶ変えているとはいえ、小田原にはそのような豊かさを感じられる風景や営みが、私たちの周りにたくさん存在しています。何気ない日常の中に見え隠れする、自然の表情、四季の移ろい、人々の温もりや優しさを大切に作る心……。それらをたくさん持っている小田原の豊かさを、誰にでも分かりやすく、白秋の童謡は教えてくれているのです。

平成24年度以降の  
取り組み

「行革アクションプログラム2011」を事務事業の見直し結果や社会情勢の変化などを踏まえて見直し、「行革アクションプログラム2012」としてまとめました。

今後も継続して行政改革に取り組んでいきます。

新たに加えた  
主な取り組み

- 市庁舎における省エネルギー推進の取組
- 市税等収納率向上の取組
- 市有地の有効活用による新たな歳入確保の取組

HOME PAGE  
「市政情報」をクリック  
「行政改革」

## 視点3

## 市民との協働による行財政運営の推進

社会環境の変化により「公共」に求められる領域が変化しています。2つの推進項目に基づき、市民・民間・行政の役割分担を見直し、それぞれの特長を生かした事業展開や市民と行政との協働による行政改革を進めるための仕組み作りに取り組みます。

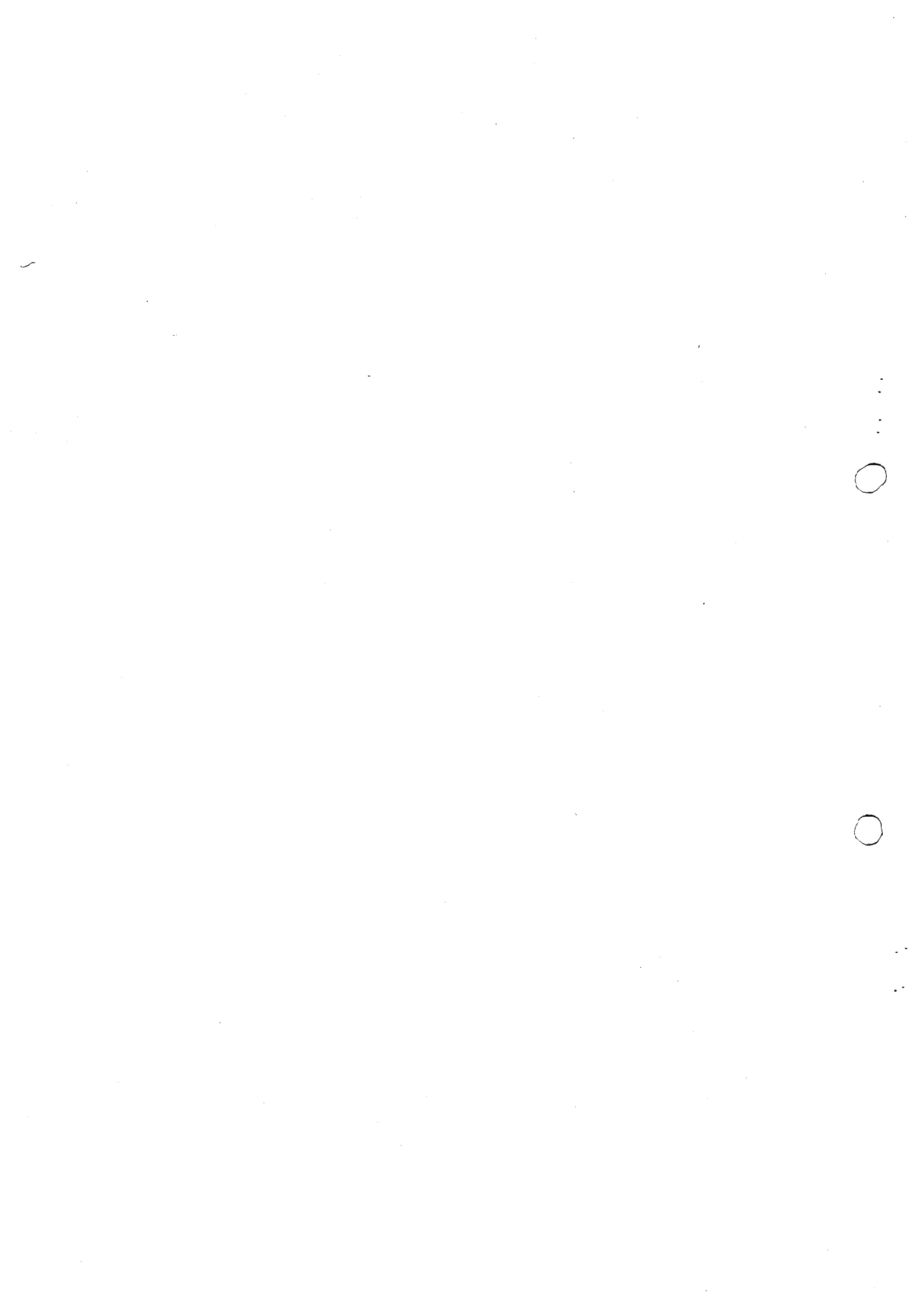
## ▶ 平成23年度に取り組んだ項目

推進項目1 市民や民間の力による  
事業展開の推進  
主な取り組み ■「キャンパスおだわら」の開設

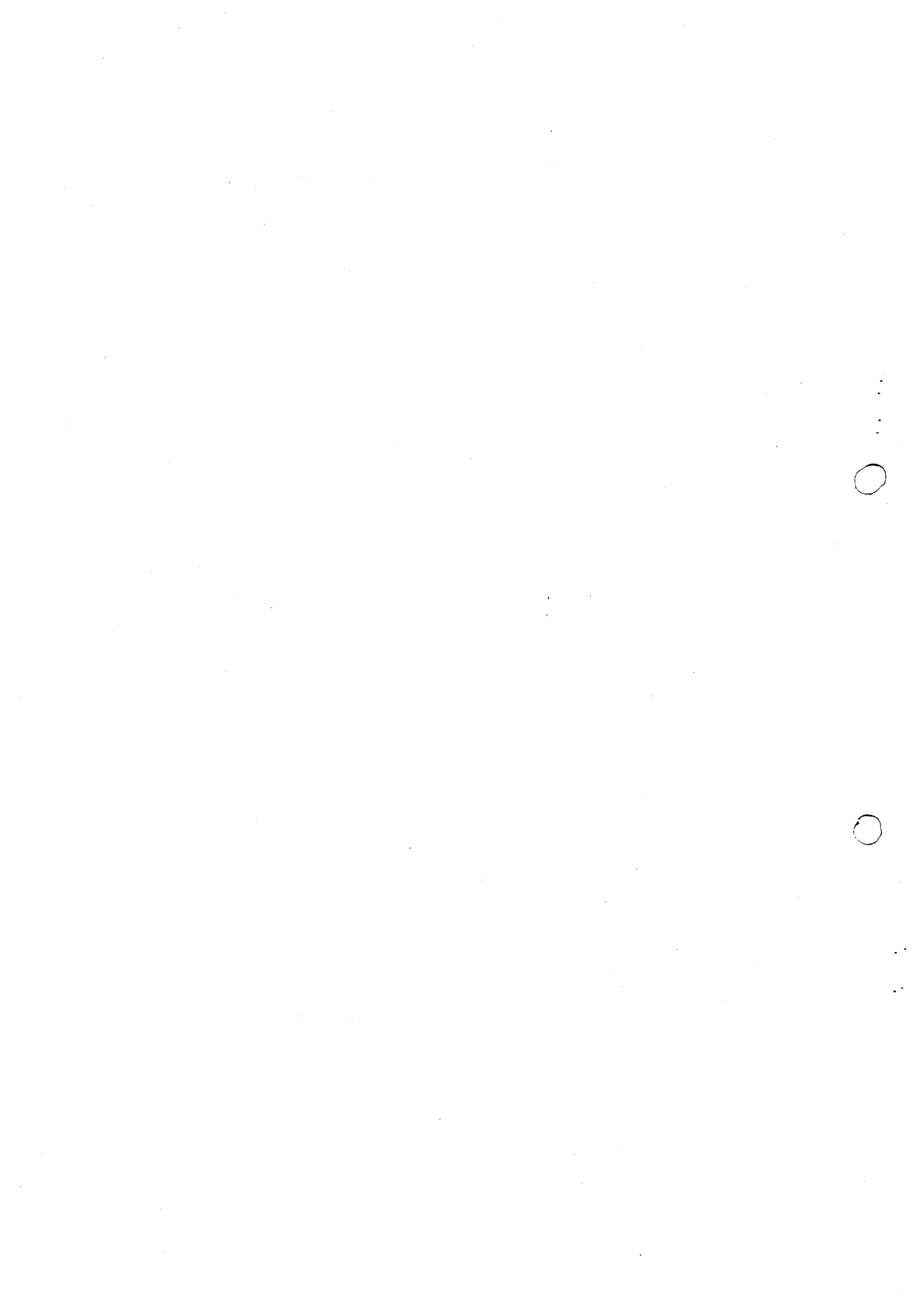
推進項目2 市民と行政の情報共有と  
市民によるモニタリング  
主な取り組み ■パブリックコメントの制度化



「キャンパスおだわら」の開設



2 行政改革の取り組み (平成25年11月1日号)



## 「小田原市行政改革指針」の3つの視点

### ▶ 視点1 効率的・効果的な行財政運営の推進

**推進項目** 事業の休廃止、見直し、  
類似・重複事業の整理・統合

平成24年度の  
主な取り組み

- 消防の広域化の実施
- 災害時要援護者管理システム構築

**推進項目** 施設の管理運営方法等の見直し  
(ファシリティマネジメントの推進)

平成24年度の  
主な取り組み

- スポーツ施設への指定管理者制度の導入

**推進項目** 定員管理の適正化、  
人材育成と人事給与制度の見直し

平成24年度の  
主な取り組み

- 地域手当の見直し

**推進項目** 職員の意識改革

平成24年度の  
主な取り組み

- 業務改善・職員提案制度の推進

### ▶ 視点2 健全な行財政運営の推進

**推進項目** 歳入確保

平成24年度の  
主な取り組み

- 広告収入等による新たな歳入確保
- 市有地の有効活用による新たな歳入確保

**推進項目** 歳出抑制

平成24年度の  
主な取り組み

- 健全化指標に基づく財政規律の確保
- 衛生環境保持事業の見直し

### ▶ 視点3 市民との協働による行財政運営の推進

**推進項目** 市民や民間の力による  
事業展開の推進

平成24年度の  
主な取り組み

- 小田原城ミュージックストリートの見直し

**推進項目** 市民と行政の情報共有と  
市民によるモニタリング

平成24年度の  
主な取り組み

- 財政状況の公表の仕方(財政白書)
- ごみ分別状況調査結果の公開

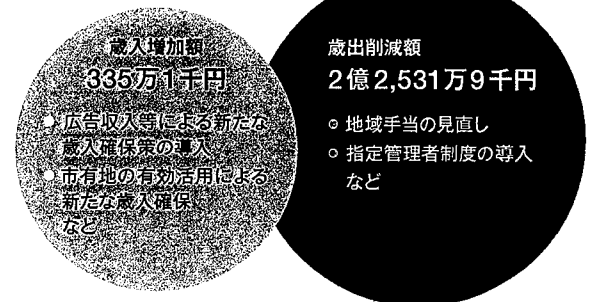
# 行政改革の 取り組み

問 行政管理課 ☎33-1305

市では、平成23年3月に「小田原市行政改革指針」を策定しました。

指針に基づき、各部署で事務事業を見直し、改善・改革の具体的な計画「行革アクションプログラム」を取りまとめ、行政改革に取り組んでいます。

## 平成24年度の行政改革による 主な効果額 (2億2,867万円)



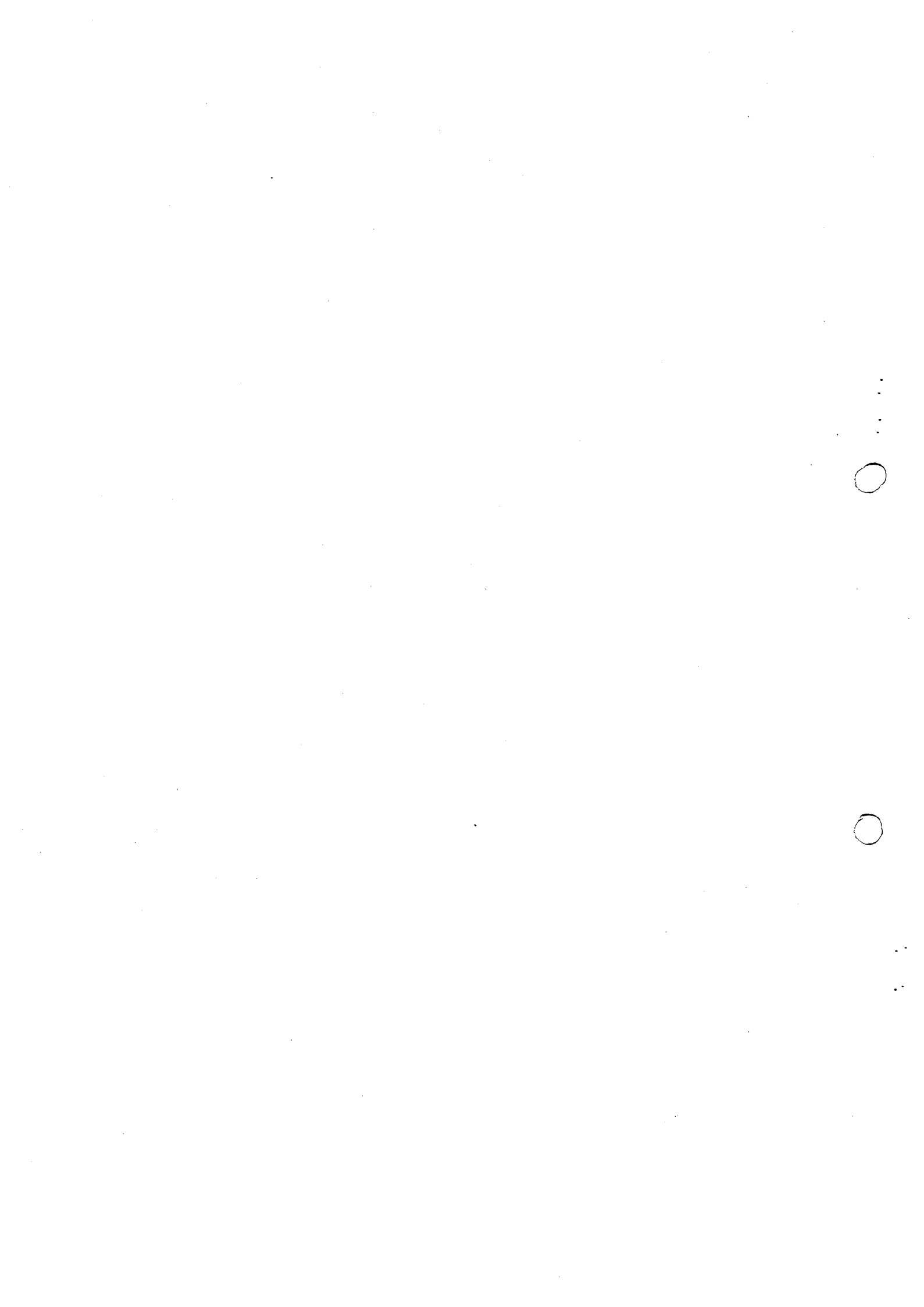
## 平成25年度以降の取り組み

平成24年度の見直し結果や社会情勢の変化などを踏まえ、「行革アクションプログラム2013」をまとめました。

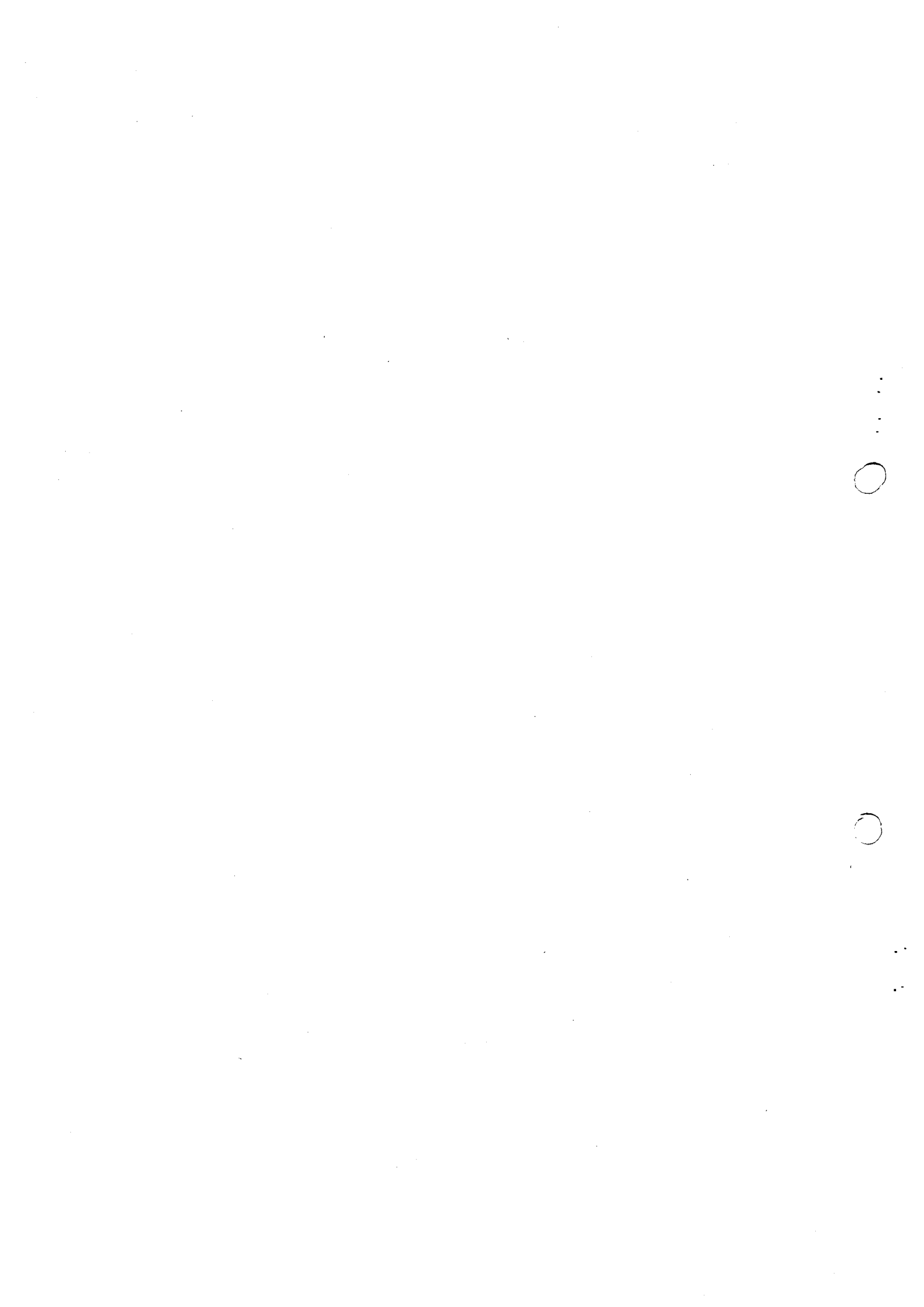
今後も継続して、行政改革に取り組んでいきます。

### ▶ 新たに加えた主な取り組み

- > 企業立地等優遇制度の見直し
- > 下水道事業の企業会計化
- > 人事・給与システム再構築に伴う業務標準化の取り組み



3 行政改革の取り組み (平成26年10月1日号)





# 行政改革の取り組み

岡 行政管理課 電話 33・1304

市では、平成23年3月に「小田原市行政改革指針」を策定しました。指針に基づき、毎年各部署で事務事業を見直し、改善・改革の具体的な計画「行革アクションプログラム」を取りまとめ、行政改革に取り組んでいます。

## 「小田原市行政改革指針」の3つの視点と

平成25年度の主な取り組み

**視点1** 効率的・効果的な行財政運営の推進

歳出削減額 2億4,283万5千円

推進項目① 事業の休廃止・見直し、類似・重複事業の整理・統合

●市県民税試算システムの導入  
●タブレット端末を使用したペーパーレスの会議

推進項目② 施設の管理運営方法などの見直し(ファシリテスマネジメントの推進)

●小田原市社会福祉センター管理運営事業の見直し

●障害者自立支援施設の在り方の検討

推進項目③ 定員管理の適正化、人材育成と人事給与制度の見直し

●地域手当の見直し

推進項目④ 職員の意識改革

●業務改善、職員提案制度の推進

**視点2** 健全な行財政運営の推進

歳入増加額 303万9千円

歳出削減額 276万4千円

推進項目① 歳入確保

●自動販売機設置場所の貸し付け方法の見直し

●国民健康保険料確保緊急対策の取り組み

推進項目② 歳出抑制

●健全化指標に基づく財政規律の確保

●圧着はがきの導入による郵送代や用紙代などの経費削減

**視点3** 市民との協働による行財政運営の推進

歳出削減額 3616万7千円

推進項目① 市民や民間の力による事業展開の推進

●足柄駅駐輪場の整備

推進項目② 市民と行政の情報共有と市民によるモニタリング

●審議会や委員会の活性化

## 平成25年度の行政改革による主な効果額 (2億8,480万5千円)

**歳入増加額 303万9千円**

- 自動販売機設置場所の貸し付け方法の見直し
- 使用不能になったカーブミラーなどの廃材の処理方法の見直し など

**歳出削減額 2億8,176万6千円**

- 地域手当の見直し
- 業務委託契約の見直し など

## 平成26年度以降の取り組み

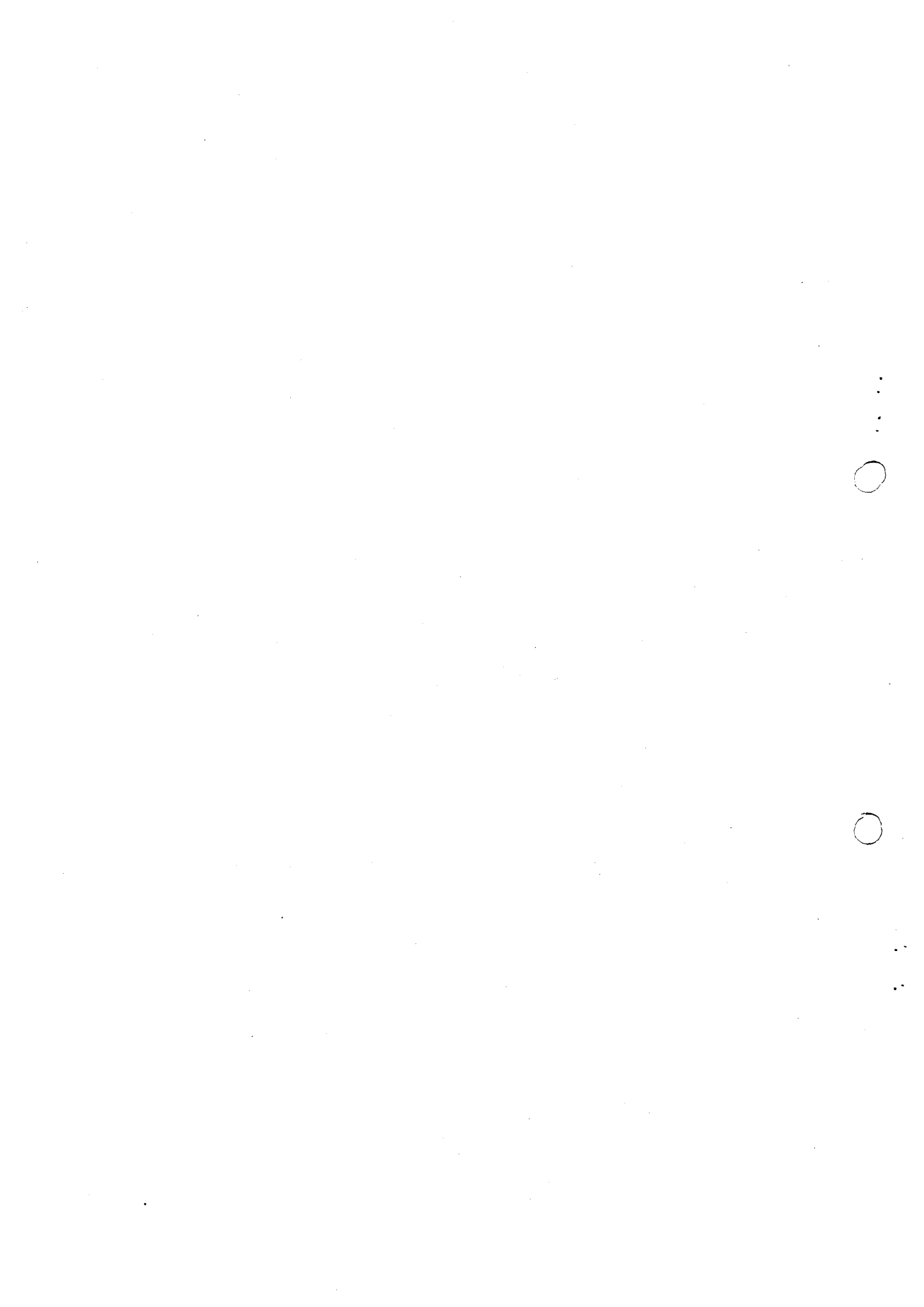
平成25年度の見直し結果や社会情勢の変化などを踏まえ、「行革アクションプログラム2014」をまとめました。今後も継続して、行政改革に取り組んでいきます。

新たに加えた主な取り組み

- 高齢者保養費助成事業の廃止
- 青少年育成推進員制度の見直し
- 小田原城址公園内施設の有効活用による新たな歳入確保策の取り組み



市民の駐輪場として整備された小田急線足柄駅自転車駐輪場



4 行政改革の取り組み (平成27年10月1日号)

..  
..  
○

○

..  
..

# 行政改革の取り組み

岡 行政管理課 電話 33・1305

市では、平成23年3月に策定した「小田原市行政改革指針」に基づき、毎年各部署で事務事業を見直し、改善・改革の具体的な計画「行革アクションプログラム」を取りまとめ、行政改革に取り組んでいます。

## 「小田原市行政改革指針」の

3つの視点と

平成26年度の主な取り組み

### 視点1 効率的・効果的な行財政運営の推進

歳出削減額 1368万3000円

推進項目① 事業の休廃止、見直し、類似・重複事業の整理・統合

●委託相談支援事業所の一元化

●観光回遊バス運行事業の効果的運営

●新課税システムによる確定申告、市県民

税申告の受け付け

推進項目② 施設の管理運営方法などの見直し

（ファシリティマネジメントの推進）

●市民活動サポートセンターの移転

●塔ノ峰青少年の家の施設廃止

推進項目③ 定員管理の適正化、人材育成と人事給与制度の見直し

●住居手当の見直し

推進項目④ 職員の意識改革

●業務改善・職員提案制度の推進

### 視点2 健全な行財政運営の推進

歳入増加額 6355万6000円

歳出削減額 4404万7000円

推進項目① 歳入確保

●し尿の処理手数料の見直し

●広告収入などによる新たな歳入確保策の導入

推進項目② 歳出抑制

●古紙分別の推進

●公共施設予約システムの南足柄市との共同利用

●基幹業務システムの効率的な更新

### 視点3 市民との協働による行財政運営の推進

歳出削減額 82万4000円

推進項目① 市民や民間の力による事業展開の推進

●提案型協働事業の実施

●地元企業と連携した若年者雇用支援事業の実施

●橋地域におけるバス交通の再編など

●学校給食調理業務の委託

推進項目② 市民と行政の情報共有と市民による

「ヒタコング」

●審議会や委員会の活性化

平成26年度の行政改革の主な効果額  
(1億2,211万円)

歳入増加額 6,355万6,000円

歳出削減額 5,855万4,000円

## 平成27年度以降の取り組み

平成26年度の見直し結果や社会情勢の変化などを踏まえ、「行革アクションプログラム2015」をまとめました。今後継続して、行政改革に取り組んでいきます。

新たに加えた主な取り組み

●小田原駅西口・東口自転車駐車場設備の取得および管理運営方法の見直し

●民間企業と連携した「ハミダセ×まちづくり学校」の開催



「ハミダセ×まちづくり学校」のようす

...

...

...